

間伐材の活用：木工体験・販売を中心に

池田 輝明（グリーンボランティア「森林（もり）づくり三重」 会長兼事務局長）

■ 池田 輝明（いけだ てるあき）プロフィール

グリーンボランティア「森林（もり）づくり三重」会長兼事務局長。

昭和 20 年大阪府生まれ、現在は三重県に在住。

石油会社退職後、当会に入会。

当会は山林保全、環境教育、地域貢献という3つのカテゴリーで活動しています。除間伐材、間伐材の運搬、木工、木こり体験など出来るだけ自分たちの独力でやろうと、あまり人に頼らず幅広い活動をしています。

地元の湯ノ山温泉にある空き店舗で木工教室をやりたいと依頼を受けて、グリーン工房として木工インストラクター活動をしています。来客者には若い女性や親子

連れが多いです。特に雨天の日は温泉に宿泊していても、遊びに行くところがないとグリーン工房に来られます。他にも吉本興業の芸人さんなどがよく来られますが、温泉協会には吉永小百合さんをお呼びくださいと要望しています。グリーン工房での木工体験者は大体 250～300 人/年で、見学者と合わせると 500 人/年くらいの来館があります。開館日は毎週日曜日です。来館者は三重県内が



池田 輝明さん

当然多いですが、名古屋や大阪からも結構来られて、温泉街では割と知られた存在になりつつあります。

グリーン工房を基盤にして、間伐材を使っていろいろなところに展望台やベンチ、看板、山の道標、安全柵などを作って設置しています。当会の収入比率ですが、私が代表になってから「助成金からの依存を脱却せなかん。」ということで、自主事業を平成 16 年度くらいから始めて、大体 3 分の 1 くらいにまでの規模になってきました。「赤字はいかん」とよく会社では言われますが、大きな投資で 70 万から 80 万円の資材倉庫を買った平成 20 年度だけが少し赤字になりました。しかし、ほとんど黒字体質になっているので、他の活動の資金源、自己資金にしたいと思っています。

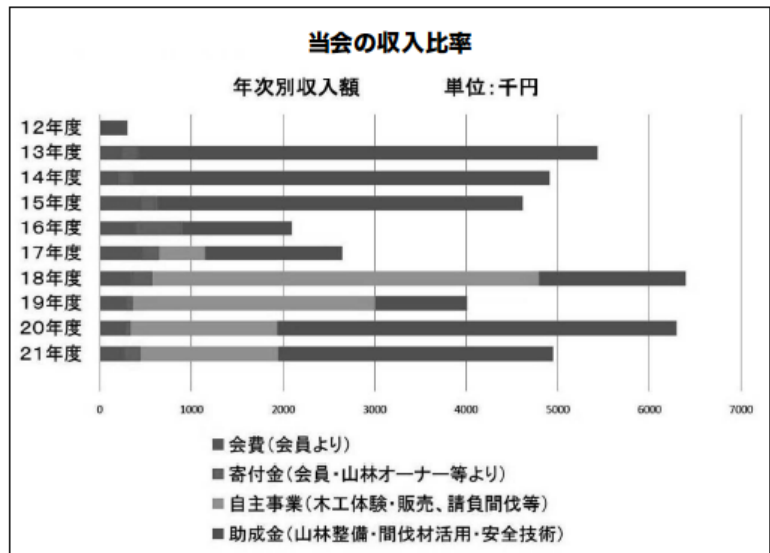
グリーン工房：木工体験・販売

地元の要請により、菟野町湯の山温泉街の空き店舗で木工体験ひろば「湯の山温泉グリーン工房」のインストラクターとして活動



グリーン工房：仲よしグループで競作





掲載 国土緑化推進機構 <http://www.green.or.jp/bokin/download/tokutei10-ref06.pdf>